

創造工学研修履修者へ

北京科技大学（中国）との共同研修参加者募集

本科目では、海外大学との共同研修プログラムとして、2006年より中国・北京科技大学（USTB）との合同発表会を、これまで7回にわたって実施してきました。例年、10～13名程度の参加者がUSTBを訪問し、発表会を行っています。USTBは本学博士課程出身の教員が学院長をはじめとして多数在籍している中国の有力大学です。そのため、USTBの学生の本学に対する親近感が強く、毎年充実した合同発表会が行われています。

本プログラムでは、参加者が、「創造工学研修で実際に取り組んだテーマ」、または、「日中相互の学生の関心テーマ」について、その内容をパワーポイントスライドを使いながら英語で発表し、内容について議論します。発表時間は質疑応答を含めて10～15分程度です。基本的に本学の学生とUSTBの学生が交替で一人ずつ、全員が発表します。各発表に対して、双方の教員および学生の間で英語にて質疑を行います。発表内容の検討とスライドの作成に当たっては、事前にUSTBのパートナー学生とネットを通じて協力しあいながら作業を進めます。

平成23年度（第8回）は、以下のようなスケジュールで実施予定です。

3/20(火)	中国渡航	NH3232	仙台 (08:00) → 成田 (09:00)
		NH905	成田 (10:30) → 北京 (13:40)
3/21(水)	合同研修（発表会）		
3/22(木)	USTB キャンパス見学、北京市内研修		
3/23(金)	帰国	NH956	北京 (08:55) → 成田 (13:25) 解散

旅費、滞在費等の総経費は、例年11～12万円ですが、工学部より約10万円の補助が支給されます。本プログラム参加者は、その後もUSTB学生と連絡を取り合うケースが多く、日中双方にとっての国際リーダーの素養育成に貢献していると言えます。また、本学が実施している他の海外大学との交流プログラムに参加するリピーターが多いのも特徴です。

平成23年度（第8回）参加希望者の募集を行います。参加者は、応募者の中から所属学科、担当テーマ実施学科、男女比のバランス、申し込み順等、を考慮して引率者が決定します。

希望者は、① 氏名（性別）、② 学籍番号、③ 創造工学受講テーマ名 ④ 志望動機をメールにて引率教員の長坂教授（材料科学総合学科）までご送付ください。ご不明な点は適宜お問い合わせください。選考結果は12月初旬に直接メールにて通知します。なお、メールのレスポンスの良し悪しを判断基準のひとつにさせてもらっていますので、連絡があった場合には迅速な対応をお心がけください。

メール送付先

t-nagasaka@m.tohoku.ac.jp

795-7300 7305（伊藤秘書）

申込締切：平成23年11月30日（水）17:00

